

医彩面談 新シリーズ 23

～熊本の健康を守る先生方～ No.136

電子カルテと医療クラークで 診療を効率化

いちぐちクリニック

〒862-0912 熊本市錦ヶ丘33-1 ☎096-331-3770

一口 修 院長 (47歳)



一口院長の後ろで医療クラークが電子カルテに所見を入力している

—オープンはいつになりますか。

一口 昨年5月に開院しました。胃腸内科、内科、呼吸器外科、外科を標榜しています。この地で、義父が原口胃腸科医院として40年余り診療を行っていましたが、今回当クリニックが継承開業しました。現在は、義父も一緒にここで診療していますので、以前の患者さんも引き続き通院されています。

—洒落た外観の建物ですが、こだわりを持たれた造りですね。

一口 モダンで病院っぽくない雰囲気作りを目指しました(笑)。患者さんは病気で気分が落ち込んだ状態で来院されますから、少しでも気持ちが癒される居心地の良い空間にしたかったです。待合室の吹き抜けを6mと高くして開放感のある空間を作りました。診察室からも外の木々の緑が見えるように一部ガラス張りにしています。内装はモダン過ぎて冷たい感じにならないように、吹き抜けの壁に無垢の木を使い木の温もりを感じれるようにしました。建物に関しては患者さんからは高評価をいただいています。

—院長のプロフィールを。

一口 八代市の出身で、平成1年に熊本大学医学部卒業後、熊大第二外科(現消化器外科)に入局し、熊本市市民病院、福岡大学病院、済生会熊本病院などに勤務しました。消化器外科と呼吸器外科で主に癌の外科治療に携わってきました。

—西日本メディカルさんとのお付き合いは。

一口 勤務医時代の経験から仕事の効率を考えて、開業するときは電子カルテシステムを導入しようと決めていました。電子カルテは紙カルテのように保管や移動が必要無く、その

上必要な患者情報や統計・分析などを瞬時に引き出すことができます。また処方箋や診療情報提供書などの書類作成、レセプト作成はとでも簡便です。導入までには数社比較しましたが、国内シェアNo.1のSANYOメディコムの高信頼性で西日本メディカルさんに決めました。

—導入されていかがでしょうか。

一口 何か操作上の問題があった時は、すぐ電話対応してもらい、必要時には駆け付けて対応してもらっています。関西や福岡にしか拠点が無いという電子カルテメーカーさんも多くあって時間も出張費もかかるというところに比べると、地元には拠点があってすぐにスタッフが飛んで来てくれる西日本メディカルさんには安心感があります。また、メディコムと連動した画像ファイリングシステムを構築しており、操作も容易で、患者さんの説明にとでも役立っています。

—一日ごろから心掛けていらっしゃることは。

一口 患者さんの話に耳を傾けよく聴くということです。電子カルテの欠点といえば、医師が入力する場合横向きになってしまい、患者さんの顔を正面から見てゆっくり話を聴くことができません。そこで私は患者さんと向き合ってお話を聞き、医療クラークに私が言った所見を入力してもらっています。私が若い頃、アメリカの病院を見学する機会がありました。そこではアメリカのドクターは所見をマイクに向かって話すだけで、専門の人がテープを起こして、カルテに打ち込んでいました。当時、私は医師自らがカルテに入力しないことにびっくりしましたが、今後は日本もそういう時代になってくると思います。医師がやらなくてもいい仕事の労力や時間を、医師にしか出来ない仕事に使えることによって、患者さんにとってより良い医療が実施できると思います。

—今後についてはいかがでしょうか。

一口 スタッフ全員が医療のプロフェッショナルである自負を持って、常に患者さんの立場に立って考え、患者さんに満足していただける医療を提供していきたいと思っています。

—どうも有難うございました。

●訪問後記

オープン前から電子カルテの準備・操作のお世話をさせて頂き、皆様の努力によりスムーズに本稼働することが出来ました。オープンして一年たった今も、クラークさんと協力され患者様とのフェイストウフェイスのコミュニケーションをとる姿勢はお変わりありませんでした。これからも先生をはじめスタッフの方に少しでもお役に立てられるように私達しか出来ないサポートをしていこうと改めて誓いました。

聞き手: 株式会社西日本メディカル システム支援部 続 潤



一口院長、原口亨医師とスタッフの皆さん